

炭鉄港構成文化財における共通サイン看板について

1 趣旨

地域活性化計画に記載した事業計画のうち、未実施である「共通サインの設置」の実施方法を検討するもの。

2 構成文化財看板等設置状況

No	自治体	構成文化財	看板設置	No	自治体	構成文化財	看板設置
1	赤平市	空知川露頭炭層	○	23	赤平市	住友赤平炭鉱立坑櫓・周辺施設	○
2	三笠市	北炭幌内炭鉱音羽坑	△	24	室蘭市	旧火力発電所(日本製鋼所)	○
3	三笠市	空知集治監典獄官舎レンガ煙突	△	25	室蘭市	恵比寿・大黒天像	○
3	月形町	旧樺戸集治監本庁舎 (月形樺戸博物館)	△	26	室蘭市	瑞泉閣	○
4	夕張市	夕張の石炭大露頭「夕張 24 尺層」	△	27	室蘭市	日本製鋼所室蘭製作所製造 複葉機エンジン「室 0 号」	○
5	栗山町	小林酒造建造物群	×	28	室蘭市	工場景観と企業城下町のまちなみ	○
6	夕張市	旧北炭夕張炭鉱天龍坑	△	29	小樽市	小樽港北防波堤	×
7	岩見沢市	炭鉱の記憶マネジメントセンター石蔵	△	30	小樽市	北炭ローダー基礎	×
8	夕張市	旧北炭鹿ノ谷倶楽部(夕張鹿鳴館)	×	31	小樽市	色内銀行街(旧三井物産及び 旧三菱商事小樽支店)	△
9	三笠市	幌内変電所	△	32	室蘭市	旧三菱合資会社室蘭出張所	○
10	三笠市	北炭幾春別炭鉱錦立坑櫓	△	33	室蘭市	旧北炭室蘭海員倶楽部	○
11	美唄市	三菱美唄炭鉱竪坑櫓	△	34	小樽市	手宮線跡及び附属施設	△
12	夕張市	旧北炭滝ノ上水力発電所	△	35	小樽市	旧手宮鉄道施設	△
13	三笠市	北炭新幌内坑口	×	36	小樽市	小樽中央市場	×
14	夕張市	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道 (夕張市石炭博物館)	×	37	岩見沢市	旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場 (岩見沢レールセンター)	×
15	夕張市	旧北炭清水沢水力発電所	×	38	室蘭市	室蘭市旧室蘭駅舎	○
16	赤平市	北炭赤間炭鉱ズリ山	○	39	岩見沢市	朝日駅舎	△
17	夕張市	採炭救国坑夫の像	△	40	岩見沢市	岩見沢操車場跡	×
18	美唄市	人民裁判の絵	△	41	三笠市	唐松駅舎	×
19	美唄市	旧栄小学校(安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄)	×	42	沼田町	クラウド 15 号蒸気機関車	△
20	芦別市	旧頼城小学校(星槎大学) 校舎及び体育館	×	43	安平町	蒸気機関車 D51 320 号機	○
21	三笠市	三笠市役所庁舎	×	44	芦別市	旧三井芦別鉄道 炭山川橋梁	○
22	三笠市	住友奔別炭鉱立坑櫓・周辺施設	△	45	美唄市	美唄鉄道東明駅舎・4110 形式十輪 連結タンク機関車 2 号	△

○…日本遺産「炭鉄港」に言及した看板あり

△…個別の看板はあるが、「炭鉄港」に関する記載はなし

×…看板なし

3 財源について

- ・ 事業者に見積りを依頼したところ、最も安価なものであっても13万円弱。
- ・ 文化庁、観光庁ともに、看板の設置に活用可能な補助事業は自己財源での負担が必須。
- ・ 北海道遺産 WAON 補助金が補助率 10/10 だが、50万円が上限のため、こちらを活用する場合も数年間かけて整備する必要がある。

4 対応状況

北海道遺産 WAON の補助金に申請し（補助金 50 万円、自己財源 77,500 円）、採択されたため、この金額を上限に台数等検討。

予算縮減の手段として、既存のバス停を活用した看板製作について検討。業者に見積もりを依頼したところ、1 台あたり 65,000 円程度で作成可能との回答を得た。

また、バス停の譲渡について中央バス（岩見沢営業所）に打診したところ、10 台程度譲渡する方向で調整していただけるとの回答を得た。※本社調整中

5 今後の対応（案）

A案

- ・ 共通デザインのプレートを作成（室蘭市が作成した看板のデザインを踏襲。）
- ・ 可能であれば各構成文化財の建物や既存の看板に設置。
- ・ 野外に設置する必要がある場合は、廃止となった路線のバス停を活用する。
- ・ 現在看板が無い構成文化財に優先して設置。
- ・ 今年度、北海道遺産 WAON の補助金で最大 10 台設置可能。
- ・ 来年度以降も WAON 補助金等を活用して順次設置

B案

- ・ 1 台あたり 13～20 万程度の予算をかけて新たに看板を作成。
- ・ 今年度、北海道遺産 WAON の補助金で 2～4 台設置可能
- ・ 来年度以降は、文化庁の補助金を活用し、順次制作 （負担金が必要となるため、他事業の実施が困難となる）

6 廃線となった路線のバス停を活用した看板イメージ

